

2021年2月5日

日本電波工業株式会社

代表取締役 執行役員社長 加藤 啓美

## 経済産業省・NEDO の先導研究委託事業における委託契約締結と研究開発開始について

日本電波工業(株)(本社 東京都渋谷区、以下「当社」)は、国立研究開発法人情報通信研究機構(以下「NICT」)、国立大学法人東京大学、国立大学法人東北大学電気通信研究所、国立大学法人東北大学タフ・サイバーフィジカル AI 研究センターの五者共同で、経済産業省・国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)の、「ポスト 5G 情報通信システム基盤強化研究開発事業／先導研究(委託)」委託事業の公募に対して「極限時刻同期に基づく革新的通信デバイスと応用開拓」を提案し、このほど委託契約を締結し研究開発を開始したことをお知らせいたします。

第5世代通信システム(5G)においては既に超高速通信サービスが開始されていますが、今後、超低遅延や多数同時接続などの機能強化された5G(ポスト5Gと呼称)が製造業のスマート化や産業用IoTの普及に繋がるコア技術として期待されています。今回提案した研究テーマは、ポスト5Gの後半からそれ以降の技術課題に取り組む先導研究として、今後更に重要性が増すことが予測される「時刻同期技術」について、NICTが世界に先駆けて開発した無線双方向時刻同期技術(Wi-Wi)に基づく、極限時刻同期システムの構築を目指すものです。

具体的には、当社は高性能デジタル制御水晶発振器の開発を担当し、また、当該発振器を用いた時刻同期通信デバイス開発および本装置を使用して時刻同期の特長を生かした多数接続、遅延保証、分散協調通信伝送などの質的革新を確認する実験・検証に参画いたします。また、本研究は併せて、ロボットへの装置搭載と応用検討など、アプリケーションとの密接な融合研究を推進していく計画です。

この度の先導研究事業の契約締結により、時刻同期、発振器、ロボット、および無線接続技術の専門機関が集結して研究開発を行う意義は大きく、最終的には実用化を前提とした次のステージに移行することを目指すと共に、得られた研究開発成果については標準化団体との連携を図りながら標準化活動に取り組んでいく予定です。

当社は創業以来、周波数の制御と選択、および検出をつかさどる水晶デバイス専門メーカーとして、さまざまな周波数を作り出し、エレクトロニクス産業の発展を内側から支えてきました。今後は5Gシステムが本格的に普及すると共に、ADAS(先進運転支援システム)搭載車が増加するなど、デジタル社会の発展に伴い水晶デバイスへの需要はますます高まるものと予想しております。これに応えるため当社はこれからも高信頼で高精度の製品を提供することで安全・安心・快適な社会の実現に貢献してまいります。

以上

【お問い合わせ先】

日本電波工業株式会社

内容に関するお問い合わせ Tel : 03-5453-6723

その他お問い合わせ Tel : 03-5453-6702

e-Mail : [newsrelease@ndk.com](mailto:newsrelease@ndk.com)